

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和3年度事業点検・評価調査

3-8

3-8

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	文化財等保存修理
節			事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	8 重要文化財の修理・整備		関連団体	県文化行政課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国重要文化財「旧佐渡鉱山採掘施設」の保存活用計画や調査研究に基づく国重要文化財の修理や整備事業を推進し、構成資産の適切な保全を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化庁や専門家の指導のもと、長期的な視点に立った修理・整備計画を策定し、構成資産の価値を保護するための適切な修理や整備を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重要文化財の保存活用計画に沿って、修理・整備を継続して実施する。(定数的な目標値は設定しない。) 			
これまでの取組実績	<p>国重要文化財の保存活用計画を策定し、重要文化財の修理や整備事業を計画的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大立堅坑櫓、大立堅坑巻揚機室、高任粗砕場など 			
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重要文化財である大立堅坑櫓、高任粗砕場の修理工事を実施する。 <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大立地区(大立堅坑櫓・大立堅坑巻揚機室)の保存修理に向けた仮設材設置工事のほか、高任地区(高任粗砕場)の保存修理に向けた仮設屋根設置工事を実施した。 			
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 最新の研究成果や他自治体の事例、専門家による指導内容を考慮しながら、修理・整備計画を更新する必要がある。 ■ 重要文化財の劣化・破損が進んでおり、修理期間が長期化したり、必要経費が増加する傾向が強い。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大立堅坑背面に所在する岩盤の安全対策が必要となったことから、修理計画の修正及び岩盤調査・対策工の検討が必要となっている。 			
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 本事業は、保存管理を継続していくものであり、累積的な目標は設定していないが、概ね計画どおりに進んでおり、一定の成果が得られていることからB評価とした。</p> <p>[A ・ B ・ C]</p>			

A: 予定を上回る進捗

B: 概ね予定どおり

C: 遅れている。

